

桐生市議会 創志会 行政視察報告書

視察都市	神奈川県 海老名市
視察日時	令和 元年 7月18日 (木) 午後 1時00分 ~ 午後 3時00分
参加者	佐藤幸雄 佐藤光好 人見武男 北川久人 園田基博 工藤英人 石渡宏明
視察項目	海老名市立図書館の整備について (座学: 市役所、見学: 市立図書館)

◎視察概要

1. 説明要旨

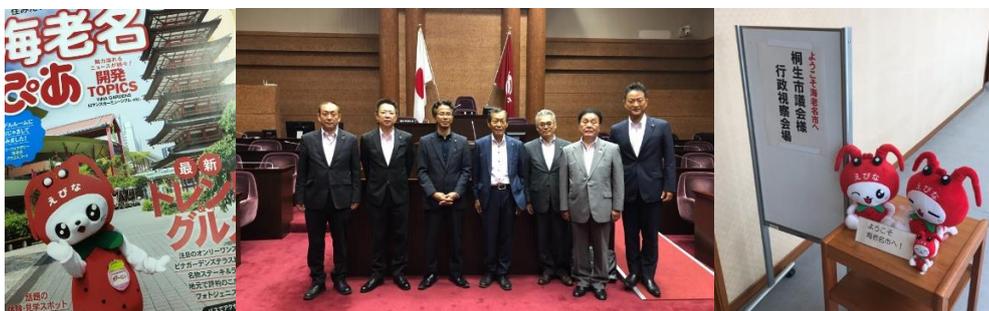
挨拶・説明:

- ・海老名市議会 議長 倉橋 正美 様
- ・海老名市 教育部 学び支援課 課長 外村 智昭 様
- ・海老名市 教育部 学び支援課 課長補佐 山田 敦司 様

海老名市の概要 (令和元年7月1日現在):

- ・人口 133,181人、世帯数 56,934世帯、総面積 26.59 km²
- ・市制施行 昭和46年11月1日
- ・一般会計予算 438億2,900万円 (H.31年度当初)
- ・議員定数 22名 (男性 16名、女性 6名)、平均年齢 56.8歳
議会は3常任委員会 及び 3特別委員会 により構成
 - 常任委員会: 総務・文教社会・経済建設
 - 特別委員会: 基地対策・議会改革・総合まちづくり
- ・JR相模線 (4駅)、小田急線 (2駅)、相模鉄道 (3駅)、東名高速道路海老名SA、圏央道海老名ICの交通網を有し、特に圏央道施設により

- 都内アクセスが格段良化。(都内新宿まで約 40 分)
- 海老名市 ゆるキャラ 一般公募採用「えびーにゃ」。

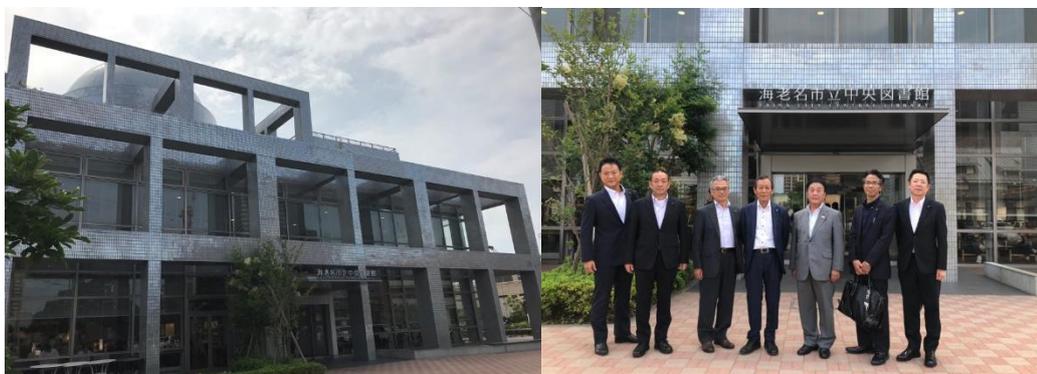


- 駅前エリアを VINA GARDENS として大型開発。
2017 年 11 月に商業施設、飲食店舗が多数入り、人の流れに変化。
3 棟のタワーマンション、オフィスやサービス施設の増設を計画中。
<http://vinagardens.jp/>
- 桐生市面積 274.4 km²に比し約 10 分の 1 のサイズ、但し上回る人口数。
現在約 1,000 名/年の人口増にあり、最先端ながらも暮らしやすさを追求する、元気なコンパクト・シティを目指す。

2. 海老名市立図書館の整備について:

市内図書館施設について:

- 中央図書館 (S. 60 開館、3,659 m²、蔵書 315 千冊、貸出者 239 千人)
→ H. 27. 10. にリニューアル・オープン。
<https://ebina.city-library.jp/library/>
- 有馬図書館 (H. 07 開館、933 m²、蔵書 97 千冊、貸出者 31 千人)
→ R. 03 でのリニューアル・オープンを計画中。
- その他、市民図書室 (小学校図書室の土日開放) 蔵書 1.2 千冊あり。



従来の課題と取り組みについて:

- 読書離れ、活字離れ、利用率低迷、施設老朽化。

先進事例の調査・研究を経て指定管理者制度を導入。民間ノウハウ、アイデアを取り入れた、既存枠に捉われないリニューアルを実行。

- ・利用者増、利便性と「居心地の良さ」を追求。

365日開館(9:00-21:00)、解放感ある地下1F 地上4Fのスペース。キッズライブラリー、キッズエリア設置、学習室や屋外テラス設置、ライフスタイル分類による図書配架を工夫。

館内他市内13ヶ所に返却Box設置、図書貸出の予約可、Free WiFi、配送サービス(有料)、iPad、DVDプレイヤー無料貸出、書籍文具の販売、カフェ併設、館内飲食可、授乳室・貸出ベビーカー完備、車椅子、対面朗読サービスの提供、他。



- ・指定管理者による様々な企画を実施。

読み聞かせ会、各種講演会、プラネタリウム投影(既存設備活用)、ぬいぐるみのお泊り会(子供が自分のぬいぐるみを一晩預け、ぬいぐるみが図書館で過ごす様子を写真に収めて贈る)、他。



- ・指定管理者は下記のとおり。
 - 第一期： 蔦屋書店
 - 第二期： 「えびな学びコンソーシアム」 共同事業体
 - CCC (カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株))、
 - TRC (株) 図書館流通センター)、相鉄企業 (株)
 - 指定管理料 約 16 億 (第一期) ~ 20 億円 (第二期)/5 年間。
- ・リニューアル後の状況
 - 蔵書増 (30 → 31 万冊)
 - 席数増 (120 → 296 席 (428 席 ※テラス席含む))
 - 図書エリア拡大 (2,450 m² → 3,600 m²)
 - 来館者増 (32,382 名 (1,045 名/日) → 78,862 名 (2,544 名/日))
- ・利用者の声
 - 雰囲気が良い、明るい。開館時間が長くて便利。
 - 飲み物を飲みながら本を読めるのが良い。
 - 女性や子供が利用しやすい。ゆっくり過ごせて良い。
 - 分類は良いが、探しにくい。配置がわかりにくい。
 - 案内表示がわかりにくい、階段が多く高齢者は移動が大変。他
- ・今後の図書館整備

「ひろがる つながる みんなの図書館」、「学びとコミュニティの拠点へ」を基本方針に、指定管理者制度の成果を見極め、その継続性を図っていく。開発が進む駅直近の中央図書館と、田園風景残る市南部に位置する複合施設としての有馬図書館。各地域の特性や各々の図書館が担っている役割を踏まえた有効活用を図っていく。

◎視察成果による当局への提言または要望等

桐生市面積 274.4 km²に比し約 10 分の 1 サイズ、但し上回る人口数を有する海老名市は現在、約 1,000 名/年の人口増にあり、最先端ながらも暮らしやすさを追求したコンパクト・シティへの仕掛けづくりが随所に見られた。

民間ノウハウを積極的に取入れた指定管理者制度導入による市立図書館は、徹底的な「利便性」と「居心地の良さ」を追求。思いついた時に立ち寄ることのできる「憩いの場」として市民人気スポットとして根付き、定着をしている。

読書離れ、活字離れ、利用率低迷、施設老朽化、等の直面する課題は桐生市にあっても同様であり、また「居場所づくり」の側面も期待することが可能。費用対効果の精査吟味を持った上での有益参考事例として位置付けたい。

尚、指定管理者制度の導入にあたっては、行政・業者間コミュニケーションの不足により生じた苦勞に加え、一部メディアがそれを面白おかしく報道を連呼した経緯あり。変化を好まない、新しい取り組みに対する「拒絶」という障壁も時にはあったが、チェック・牽制機能を相互に持つことで現在は問題生ずることなく運営ができているとのこと。

余談ながら海老名市役所内では案内表示板が大きな文字でわかりやすく色分けされており、その案内板同色でそれぞれの窓口もカラーリングがされていた。また市のゆるキャラである「えびーにゃ」をあらゆる掲示場所に登場させガイド役を担わせており、市役所外においても市民愛着を促進する工夫としてそれは散見することができた。

本市ゆるキャラ「キノピー」の普及活動における参考事例としたい。

